

地域の活動を紹介します！

● 阿久和南部地区社会福祉協議会 笑！和！輪！クラブ

阿久和南部地区支援チームリーダー 生活衛生課長
亀井 昭夫

阿久和南部地区では、放課後の子どもの居場所・遊び場づくりとして、「笑！和！輪！クラブ」を開催しています。このクラブは、子どもたちを地域で育む活動の一環として、子どもと大人が“顔見知り”になる場になればとの思いも込め、平成28年6月からおおむね月1回程度開催されており、毎回、阿久和南部地区社協、阿久和地域ケアプラザ、瀬谷区社協の皆さんが協力して見守りをしています。

年に数回の「お楽しみ会」では、みんなで一緒にお菓子を作って食べるといった楽しみも用意され、チョコレートフォンデュやポップコーンが大人気で、普段は20人くらいの参加者が、このイベントのと

きは50人くらいに増えることもあります。「集まった子供たちが一緒に遊ぶことで交流が広がります。地域内の小中学生なら誰でも予約なしで自由に参加できるので、保護者の皆さんも安心して送り出してほしい！」と、運営の中心である阿久和南部地区社協の相原会長。

みんなの楽しそうな顔が目には浮かびます。



● ほっこりカフェ

日 時：毎月第2木曜 14時～16時 / 場 所：特別養護老人ホーム愛成苑
参加費：200円

住民やケアマネジャーの「認知症患者やその家族が気楽に集まれる場所が欲しい」という声がかき



かけで、二ツ橋第二地域ケアプラザと小規模多機能型居宅介護「咲くや愛成」の共催で、認知症や障害のある方はもちろん、子どもから大人までどなたでも参加できる「ほっこりカフェ」を特別養護老人ホーム愛成苑でオープンしました。

ほっこりカフェでボランティアをしているお二人にお話を伺いました。参加のきっかけはお二人とも自治会の回覧だったそうです。

「80歳まで仕事で定年後のライフプランニングの講師等をしていたので、ボランティアはいつも身近にあった。メンバーでもお客さんでも、知り合いが増えるのが嬉しい。案内するときのお客さんの笑顔

が喜び！」と斎藤正人さん。

「今まで、音声訳のボランティアや消費生活推進員、病院の小児病棟等、色々なボランティアを経験しそれぞれ学ぶことはたくさんあった。東日本大震災以降、日頃から自分の地域でつながりを持つことの大切さを感じ、このボランティアに参加した」と三好明美さん。

ほっこりカフェ終了後には毎回反省会を行い、次につながるための活発な意見交換を行うとのこと。前向きでパワフルな皆さんに、来られる方も美味しいコーヒーだけでなく、元気もご馳走になっているようです。



編集後記

今回取材を通して知った川の魅力や環境保全にご尽力されている皆様の活動を紹介するにはこの紙面だけでは足りないと思いついた一杯です。また、高齢化による後継者不足というお話もありましたが「通りかかって声をかけてくれる人がいる限り大丈夫！」という頼もしい声もあり、苦労話ではなく頑張った話に目をキラキラされ、「自分ができることをする」その姿勢に詠嘆しました。皆様のご努力をお手本とし、これからの地区支援に生かしたいと思えます。

【問合せ先】

瀬谷区役所 地域振興課 地域力推進担当
TEL:045(367)5789 FAX:045(367)4423
〒246-0021
横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地
発行/平成30年9月

地域づくり 通信

第36号

平成30年9月



思い出も 未来も共に
この瀬谷で

～瀬谷を流れる5本の川と、川を守る人々～

瀬谷区は川と緑に恵まれた地域です。区内を相沢川・阿久和川・和泉川・境川・大門川と5本の川が流れ、源流も存在する珍しい地形です。瀬谷区の財産であるこれらの川を美しく保つことで魅力をアップして、区民の方々が気持ちよく散歩できる場とするためにご尽力されている団体の皆さんの活動等をご紹介します。

大門川

大門川は境川の支流で、瀬谷中央公園沿いの「大門川せせらぎ緑道」は、木の温もりと瀬音がやさしい散策路として訪れる人に癒しと潤いを与えています。



相沢川

相沢川は瀬谷区から大和市を通り境川に注ぐ川です。相沢川沿いの道を散歩する通称「相沢川ウォーク」では初春、瀬谷さくら小学校と下瀬谷団地の間の童橋近くで河津桜を楽しむことができます。



和泉川

和泉川は瀬谷市民の森を源流に、瀬谷区、泉区を経て戸塚区で境川に合流します。8つの水辺愛護会が清掃や草刈りを行っており、美しい和泉川が保たれています。



境川

境川は町田市の西の端に源流があり、周辺の山々から湧き出した水が沢となり、川となりました。名前の由来は瀬谷区より上流の都県境を流れる部分が相模国と武蔵国の境界であったためといわれています。大小様々な13ほどの支流が合流し江ノ島付近で相模湾に注ぎます。



阿久和川

昔はザリガニ捕りが楽しめた阿久和川ですが、瀬谷区内を流れる部分は今はほぼ暗渠となっており、瀬谷区から泉区を通り途中の小さな支流と合流して柏尾川となります。



豆知識

阿久和川の支流の源流域が長屋門公園の奥に、和泉川の源流域は瀬谷市民の森に、相沢川の源流域は瀬谷区との区境に近い緑区にあります。

瀬谷区の川の魅力や 美しさを保つ皆さんの 活動等をご紹介します!!



草刈り作業風景

和泉川 「和泉川東山の水辺」「二ツ橋の水辺」「関ヶ原の水辺」「寺ノ脇の水辺」「広場の水辺」「めがね橋の水辺」「遊水地の水辺」「いきものたちの谷戸観察会」と8団体ある愛護会から今回は2団体をご紹介します



幸せを呼ぶ
ブルービー

いきものたちの谷戸観察会

平成18年に荒地だった和泉川の整地をした時に、生き物好きが集まりこの会を発足しました。最初は瓦礫ばかりで自生した桜やイチヨウ以外は植えても皆枯れてしまいましたが、「ホタルを復活させよう!」と奮奮して土地の手入れをし、平成28年には和泉川でホタルの乱舞が見られるほどになりました。

宮沢のバス停から5分ほど、瀬谷貉窪公園につながる川に面した小道に同会の掲示板があり、和泉川に生息する虫や鳥や草花を毎月掲示して通りかかる人々を楽しませています。珍しいブルービー(ナミルリモンハナバチ)も撮影成功!

手入れはするが虫や鳥の居場所がなくならないように、すべて刈ってしまうことはしたくない!と会の皆さん。虫や鳥や草花をこよなく愛する気持ちがとても良く伝わります。

毎月1回自然観察会も実施しているので、和泉川に生息する珍しい虫や鳥など生き物の愛らしい姿をぜひ見に来て下さい。



いきものたちの谷戸観察会掲示板

境川 せや かつぱの会

昔話で境川にかっぱが出るという伝説から名づけられた「せや かつぱの会」は、平成23年に「瀬谷をふるさとにする会」と境川上流河川沿いに桜並木の名所をつくった有志が合流して、地域の皆さんや子どもたちにふるさと瀬谷の魅力を伝承し地域の活性化を図る目的で発足しました。

同会は毎年4~5月には境川の中島橋付近で60匹ほどの手作りの鯉のぼりを掲揚し、夏には深緑の深見城跡を背景に筏遊びを行います。鯉のぼりは地域の小学校、養護学校、町内会、老人会等の皆さんがアイディア一杯に作成され、とてもカラフルで見る人の目を楽しませてくれます。手作り筏で行う筏遊びは「もう一度乗りたい!」という声が聞えるほどの人気です。

「せや かつぱの会」による、川の上を泳ぐアイディア鯉のぼりや筏遊びは、毎年たくさんの皆さんに笑顔を与えてくれています。



境川で夏の思い出:
筏遊び



境川を泳ぐように掲揚された鯉のぼり

相沢川 四季の会

「四季の会」は「下瀬谷第四公園愛護会」のメンバーが団地外の相沢川沿いの植え込みに花壇を作る会として発足しました。

相沢川のゴミ掃除や川沿いのアジサイ、千日紅、バラ、彼岸花、皇帝ダリア、チューリップ、コキアほか、数えきれない種類の花を育て、通る人を楽しませています。声をかけてくださった方には花やホオヅキを差し上げていて、それがやりがいだそうです。四季の会は皆が自主的に動き、楽しみながら無理なく活動することがモットーです。廃品のベンチもまるで新品のようにリメイク!切り株にペイントなどアイディアは尽きません。今年は区のオープンガーデンにも参加して訪れる方に楽しんでいただきました。

皆さんも相沢川ウォークと四季の会の花壇を楽しんでください!



川沿いの河津桜



輪切りした切り株で作りました



枯草回収作業

和泉川東山の水辺愛護会

「和泉川東山の水辺愛護会」は平成8年に発足し、ゴミ拾いや草刈り、清掃を行いながら、アジサイやコスモスなどの季節の花を育てています。

様々な表彰もいただき、川の環境保全の特集をする台湾のテレビ局に取材を受けたこともあります。この辺りは川縁が広く散策しやすく、子どもたちの遊び場にもなっていることからケガなどをする危険を取り除くよう、慎重にパトロールしています。

過去には、灯籠流しの後に花火やカレーを食べるイベントを行っていましたが今は残念ながら開催していません。東山の水辺の勾配を生かして、そうめん流しができたら!また、和泉川の8つの愛護会合同のイベントができたら嬉しい!と愛護会の皆さん。そんなイベントができたら素敵ですね!



和泉川沿いのアジサイ

大門川 本郷せせらぎ愛護会

大門川は境川の支流で、瀬谷中央公園沿いの「大門川せせらぎ緑道」は「本郷せせらぎ愛護会」が除草や清掃、サツキ、アジサイの手入れをしています。「本郷せせらぎ愛護会」は平成9年に24名でスタートし、現在に至る水辺愛護会です。会員の皆さんはとても研究熱心で、栽培に関する勉強もされています。

大門川が流れる瀬谷中央公園は、こどもログハウス「まるたのしろ」やゲートボールができる広場があり、2月には梅、3月にはこぶし、4月には桜と、移ろい変わる四季折々の姿を楽しめます。

会員の皆さんは、自分たちが手入れしたアジサイやサツキを見て喜んでいただけることがこの活動を続ける原動力になっているとのこと。



緑道の清掃とアジサイ花壇の除草作業



大門川せせらぎ緑道入り口

阿久和川

瀬谷区内では多くの部分でほぼ暗渠となっている阿久和川ですが、阿久和南の阿久和大久保原公園下の遊水地付近では、カワセミやシラサギ、ガマの穂などを見ることができ、追想を誘います。

阿久和川の支流の源流は阿久和東の長屋門公園にあり、今も神秘的な静けさを湛えています。本流の源流は残念ながら今は見ることはできませんが、三ツ境駅周辺にあった「鎌取池」という大きな池だと言われています。瀬谷の民話「鎌取池」は「むかし、阿久和川の源、三ツ境の奥深い森の中に…」で始まる阿久和川の源流の話です。



長屋門公園内の源流域



瀬谷の民話の紙芝居「かまとりいけ」

今年、瀬谷区役所で瀬谷の民話「かまとりいけ」と「ひとつめこぞう」を紙芝居にし、瀬谷図書館と瀬谷区民活動センターで貸出を始めました。おはなし会などのイベントでぜひご利用ください。